

平成三十一年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査

小学校第五学年 国語 調査票

注意

- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、中を開けないでください。
- 2 調査票に地区番号、学校番号、組、出席番号、名前を書いてください。
- 3 解答用紙に地区番号、学校番号、組、出席番号を書いてください。
- 4 調査の時間は、四十分間です。
- 5 答えは、全て解答用紙に記入してください。
- 6 終わったら、見直しましょう。
- 7 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめてください。

地区番号	学校番号	組	出席番号	名前

1 次の(1)と(2)の——をつけた漢字の読みをひらがなで書きましよう。

(1) 運動会のつな引きで勝つために、作戦を練る。

(2) 二本の直線が交わってできる角の大きさを調べる。

言語についての知識・理解・技能 ① ②

2 次の(1)と(2)の――をつけたカタカナの部分にあたる漢字を書きましよう。

(1) ねらいをサ|ダ|めて、ボールを投|げ|る。

(2) 畑の土をタイ|ら|にする。

【言語についての知識・理解・技能】
③
④

3 次の文章を読んで、あとの(1)と(2)の問題に答えましょう。

しっとりしたパン、しゃきつとしたサラダなど、わたしたちは日々の会話で食感を表現する言葉を何気なく使っています。最近の調査研究により、日本語には食感を表す言葉が四百四十五語もあることがわかりました。ちなみに、英語やドイツ語では、約百語だそうです。なぜ、日本語には食感表現が多いのでしょうか。

その理由の一つは、日本語の言語の持ちように見い合せます。日本語には外国語より音や様子を表す言葉が多く、食感表現四百四十五語のうち約七十パーセントをしめています。そのため外国語では一語で表現される食感が、日本語ではいくつかの言葉にやくされることがあります。

例えば、英語で歯ごたえを表す「クリスピー」という言葉を日本語にやくすと、食べ物に応じて「サクサク」、「パリパリ」、「シャキシヤキ」、「カリカリ」といった四語になります。天ぷらのサクサク感やサラダのシャキシヤキ感を表現する言葉が同じなのは、日本人には違和感があるかもしれません。

食感表現が多いもう一つの理由は、食感に対する日本人の意識の高さにあると考えられています。日本は海や山に囲まれており、多くの新せんな食材が手に入るため、持ち味を生

(1) 「なぜ、日本語には食感表現が多いのでしょうか。」とありますが、その理由として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 日々の会話で食感を表現する言葉を何気なく使っているから。
- イ 日本語には外国語より音や様子を表す言葉が多いから。
- ウ 日本人の食感に対する意識が低いから。
- エ 和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたから。

【読む能力】⑤

(2) に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 食感に対するこだわり
- イ いろいろな調理法
- ウ 多くの新せんな食材
- エ 日本にある海や山

【読む能力】⑥

かしたいろいろな調理法が発達してきました。生やさつと火を通すだけで食べることを好み、食材そのものの食感を大切にしています。食感にこだわりがあるからこそ、食感表現が多彩^{たさい}になり、数が多いのではないでしようか。

二〇一三年、和食がユネスコ無形文化遺産^{いざん}に登録されました。日本人の食生活や食文化のみならず、も世界中の人々に伝えたいものです。

(農林水産技術会議「農と食のサイエンス二〇一五」より作成)

4 次の文章を読んで、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

小学校四年生の「サトシ」は、夏休みの間、ニワトリを育てている「キワさん」というおばあさんの手伝いをしている。

「ここへ通いはじめて、もう十日以上すぎた。手伝いの手ぎわもだいぶよくなり、ニワトリ小屋のそうじまであつというまにおえて、縁側でひと休みしていたところだった。」

「ああ、ありがたかったですよ。」
スイカをもらう約束をしているらしい。

①「いや、だいじょうぶだ。」

やけにはつきりそういつて、キワさんは電話を切った。

「サトシ、でかけるよ。」

「えっ、どこへ？」

「となりだ。」

つっかけをはいて、キワさんが土間から庭へでてくる。

「おとなりつて、親せきなんですよね？」

キワさんの家まで三けん、親せきのはずだ。

「ああ。庭のほうもつつ切れるけど、いまは草がすごいから、表をまわるよ。」

表の通りへでたキワさんは、しばらく歩いておとなりの門を入った。となりといつても、団地のおとなりとは全然ちがう。団地なら、十けん先へいくくらいの距離はあった。

「きたよー。」

キワさんが大きな声をかけると、

「まっつたよ。」

おばさんが家のうら手から出てきた。

頭に手ぬぐいをまき、長ぐつをはいている。畑仕事らしい。

「ぼくがぺこりとおじぎをするよ。」

「ああ、なるほどね。」

(1) 「キワさん」が「いや、だいじょうぶだ。」と言った理由として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 最近ますます元気になり、歩いて行けるので、キワさんの家までスイカをとけてもらわなくてもよいから。

イ 庭のほうをつつ切るには草がすごいけれど、表をまわって行けば、自分一人でスイカを取りに行けるから。

ウ サトシにスイカを持って帰ってもらおうと考えているので、おばさんにスイカをとけてもらわなくてもよいから。

エ スイカをもらう約束をしていたけれど、キワさんの家にもスイカがたくさんあるので、もらわなくてもよいから。

【読む能力】⑦

(2) 「まよいつつ、おばさんのあとに続いた。」とありますが、このときの「サトシ」の様子として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア キワさんの手伝いを、できるのがうれしくてはりきっている様子。

イ 何をするのが分からず、とまどいながらも自分だけでおばさんについて行っている様子。

ウ 広い畑には、大きなスイカがぼこぼこなっていたので、どのスイカをもらうか考えている様子。

エ おばさんに「重たいけどだいじょうぶかね？」と言われ、スイカを持つ自信がなくなっている様子。

【読む能力】⑧

おばさんはふふつとわらった。
「重たいけどだいじょうぶかね?」
「そういいながら手まねきをする。」

② キワさんは、もう縁側にすわってくつろいでいて、動く気配はない。まよいつつ、おばさんのあとに続いた。

うら庭から畑へでた。前にいった農家のお兄さんの家といっしょにやっている、広い畑だ。その中をずんずんいくと、大きなスイカがぼこぼこなっていた。

「そうだねえ、これがいいかな。」

ぼんつとスイカをたたく。

ぼーんと、たいこみたいにいい音がかえってくる。おばさんは、そのつるをハサミで切った。

「重たいけど、おいしいよ。」

これをもっていけてことか。

両手をスイカの下へ回した。

「うっ……。」

思っていたよりずっと重い。

「腰に力を入れてもちあげるんだよ。」

そういわれて腰に力を入れると、ふらつきながらもなんとか立ちあがれた。

「いつもならとどけるんだけど、キワさんが、きょうはだいじょうぶだっていってね。弟子ができたってきいてたけど、まさかこんなにわかいとはね。」

電話の「だいじょうぶ」は、こういうことだったのか。

「もともと元気な人だけど、最近ますます元気なわけだ。」

おばさんはぼくを見て、にこつとほほえんだ。

③ ぼくがくるからってことかな。もう、重たいなんていってられないや。

両足を広げ、やじろべえみたいにあつちらおつちら歩いた。

(宇佐美牧子「キワさんのたまご」による)

③ 「もう、重たいなんていってられないや。」とありますが、このときの「サトシ」の気持ちとして最もふさわしいものを、次のアから

エまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア キワさんが、最近ますます元気だとおばさんから聞いて、自分はキワさんになわなないと思う気持ち。

イ 何も知らないうちに、スイカを運ぶことが決められていて、不満に思う気持ち。

ウ おばさんからおいしそうなスイカをもらい、早く持って帰って食べたいと思う気持ち。

エ キワさんが、自分のことを「弟子」と言っていたことをおばさんから聞き、キワさんの期待に^{こた}応えたいと思う気持ち。

【読む能力】⑨

5

さわ子さんの学年では、体験活動で、バンダナの草木ぞめに取り組みました。そして、教えていただいた山本さんへのお礼の手紙を書くことになりました。さわ子さんは、書く内容をメモに整理して、下書きを書きました。次の【さわ子さんのメモ】と【お礼の手紙の下書き】をもとに、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

【さわ子さんのメモ】

- 分かったこと
 - ・ 葉やくき、根、実などを使う。
 - ・ 植物によつてそまる色がちがう。
- 山本さんの話で印象に残ったこと
 - ・ 草木ぞめは自然が生み出すものである。
 - ・ 草木ぞめを伝えることは自然のゆたかさを守ることにつながる。
 - ・ 交流は十五年目。学校の伝統になった。
- 活用について
 - ・ 遠足や運動会でバンダナを使う。
- 山本さんへのお礼

【お礼の手紙の下書き】

たなはたかざりが風にゆれるきせつになりました。お元気ですか。先日は、草木ぞめを教えてください、ありがとうございます。わたしは、草木ぞめは緑色か茶色になるものだと思っていました。

①

緑色の葉を使ったのにピンク色にそまったのがふしきでした。うれしかったことは、わたしの作品のようが大きな花のようにきれいに

②

作ったバンダナは、遠足で首にまいて使いました。これからも大切に使います。秋の運動会では、ダンスをする時に学年みんなで身に付ける予定です。教えてくださったように、自然が生み出したものを楽しみながら、自然のゆたかさを守っていきたいと思います。これからますます、きびしい暑さとなります。どうぞお体を大切になさってください。

後付け

(1) さわ子さんは、【お礼の手紙の下書き】の ① の部分に、草木ぞめに取り組んで分かったことを書くようとしています。

ア 自分たちの地いきは、草木ぞめが有名であること。

イ さわ子さんの学校との交流は十五年目になること。

ウ 植物がちがうと、そまる色もちがうこと。

エ 運動会で草木ぞめのバンダナを使うこと。

【書く能力】⑩

(2) さわ子さんは、【お礼の手紙の下書き】の ② の部分を書くようとしています。 ② に当てはまるものとし

て最もふさわしいものを、次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア そまったことです

イ そまりました

ウ そまります

【書く能力】⑪

(3) さわ子さんは、手紙の後付け（終わりの部分）を書くようとしています。後付けの書き方として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 自分の名前

日付

相手の名前

ウ

自分の名前

日付

相手の名前

イ

日付

相手の名前

自分の名前

エ

日付

自分の名前

相手の名前

【書く能力】⑫

6 はるかさんたちの学級では、国語の授業で、社会科の校外学習について、新聞を作っています。はるかさん、あきらくん、なつみさんのグループでは、新聞のわり付けについて話し合っています。次の【話し合いの一部】を読んで、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

【話し合いの一部】

はるかさん　それでは、まず、校外学習新聞の最初の記事を何にするかについて決めましょう。最初の記事というのは、とても重要だと思うのですが、何かよい考えはありますか。

あきらくん　ぼくは、ごみを大きなクレーンでつかむところを一番はじめの記事にしたいです。たくさんのごみを大きなクレーンでつかむはく力を伝えたいです。

なつみさん　それもあるけど、わたしは、その時に聞いた分別についてのお話を最初の記事にしたいです。ごみを分けてやることの大切さを読む人に伝える新聞を作りたいですか。

はるかさん　そうですね。清掃工場の設備についてと、ごみの分別についてと、意見が二つに分かれましたね。どうしたらよいでしょう。

あきらくん　やっぱり、あのクレーンのことを新聞に書きたいです。あのはく力を写真で伝えたいな。

はるかさん　たしかに、はく力のあるところを最初に書くというのはよい考えですね。注目されると思います。

(1) 意見が対立したとき、はるかさんはどのように話し合いを進めていましたか。最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 同じところとちがうところを整理していた。

イ 三つの意見を合わせていた。

ウ 相手の意見に対して質問をしていた。

エ 新聞作りの目的を確にんしていた。

【話す・聞く能力】⑬

(2) なつみさんがあきらくんの意見になつ得した理由として最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 職員の方の話を入れることで、内容をよりくわしく説明することができるところから。

イ 読者が知らない情報を入れることで、読者の関心を高めることができるから。

ウ はく力のある写真を入れることで、読者を引き付けることができるから。

エ イラストを入れることで、読者にとって分かりやすい新聞にすることができるところから。

【話す・聞く能力】⑭

なつみさん

それもよいとは思いますが、やっぱり、分別のことが大切だと思います。職員の方の説明で、焼きやくろの中に燃やしてはいけないものが入っていると、とても危険だということを知りました。このことを、読む人に強くうったえたいです。

はるかさん

どちらの意見も、ごみを燃やす前のことということと同じですね。ちがうのは、はく力のある写真で記事を作るか、分別の大切さを記事にするかということだと思います。

なつみさん

読者を引き付けるという意味では、はく力ある写真を最初の記事にするのはよいですね。それから分別について書いた方が伝わりやすいですね。

はるかさん

そうですね。まずは読者を引き付けるということは大切なことかもしれませんね。

あきらくん

どちらの記事にも職員の方のお話を入れると分かりやすくなると思います。

はるかさん

イラストも入れると読みやすくなりますね。

(3)

ここまでの話し合いをもとに新聞を作ると、どのようなわり付けになると考えられますか。最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア

新聞

クレーンについて

職員の方のお話について

ウ

新聞

ごみの分別について

クレーンについて

イ

新聞

クレーンについて

ごみの分別について

エ

新聞

ごみの分別について

職員の方のお話について

【話す・聞く能力】 ⑮

7 次の文の主語にあたる部分と述語しゆつごにあたる部分を、次のアからカまでの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えましょう。

ア イ ウ エ オ カ
わたしの 国語の 教科書は 後ろの 本だなに ある。

【言語についての知識・理解・技能】⑬

8 次の(1)と(2)について、——をつけた言葉がくわしく説明している部分を、あとのアからエまでの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えましょう。

(1) 夕方には、西からすずしい風がふいた。

ア 夕方には イ 西から ウ 風が エ ふいた

(2) 毎日、友だちといっしょに校庭を走る。

ア 友だちと イ いっしょに ウ 校庭を エ 走る

【言語についての知識・理解・技能】⑭